

なんYAI!かんYAI!

新型コロナウイルスでの休校も明け、学校が再開されました。
久しぶりの学校は、ちょっと懐かしく感じるかも？！
普段気にせず使っているけど、教室にあるものって一体いくらする
んでしょうね？今回はそんな教室にあるものの値段ランキング！

1位：黒板

¥131,700

2位：ロッカー

¥39,744

3位：机（生徒用）

¥17,000

4位：椅子（生徒用）

¥9,400

5位：チョーク

¥800



『社会がみえるねだんのはなし2』
菅原由美子／著 大月書店より

トショブラ♥ ～DVDもあるよ！～

図書館というと、「本がたくさんあるところ」とイメージする人がほとんどだと思いますが、甲賀市の図書館には本だけでなく、DVDも置いて
るんですよ。ひとり5点まで、2週間無料で借りることができます。人気の
アニメ作品『君の名は。』や近年話題となった『カメラを止めるな。』『ボヘ
ミアン・ラプソディー』など映画作品のほか、落語やドキュメンタリー映像
などいろいろなジャンルがそろっています。市内にあるものは予約・取り寄
せもできるので、ぜひご利用ください！

発行：甲賀市図書館

水口図書館 : 63-7400 土山図書館 : 66-1056

甲賀図書館情報館 : 88-7246 甲南図書交流館 : 86-1504

信楽図書館 : 82-0320

ホームページ : <http://lib.city.koka.lg.jp/>

Book guide for Young Adult

甲賀市図書館ヤングアダルト通信



vol.11

2020. Summer-Autumn

Koka City Library

ヤングアダルト (Young Adult) とは、13 歳から 19 歳の世代の
人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。
甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ！』では、
ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

おすすめ
この1冊



理不尽な現状と闘っているすべての
少女たちにエールを

『囚われのアマル』

アイシャ・サイード／作 相良 倫子／訳
さ・え・ら書房

パキスタンの小さな村に住む12歳の少女アマルは好奇心旺盛で、色々なことを知
ることができる学校と本が大好き。将来は
教師になることを夢見ていた。だが、ある
事件をきっかけに父親の借金の肩代わり
に、村の大地主の屋敷で使用人として働く
こととなった。屋敷では嫌がらせや暴力を
受け、外出も家に帰ることも許されな
い…。自由も夢も奪われたアマル。しかし
アマルは決して諦めず、自由を掴むために
立ち上がることを決意する。

この物語は「女だから」「貧しいから」な
ど様々な差別や偏見で教育を受けられず、
労働を強要されているという、少女たちの
国際的な問題をテーマにしています。今も
なお闘い続けている少女たちを知るきっか
けになる一冊です。

●図書室には、世界を変えるヒントがありました
『図書室の神様たち』

櫻 いいよ／著 小学館



家族が喧嘩して凍てつくような空気を感じたり、クラスの揉め事に巻き込まれまいと皆が息をひそめている…そんな場に遭遇したことはありませんか。

現実から逃げるように訪れた高校の図書室で爽風(さやか)は「この世界の神様になりたい」が口癖の男子、笹木誠と出会います。いつも穏やかで優しい誠には、ある驚くべき秘密が。事実を知った爽風は誠を救うため「今」を変える決意をしますが…。

不思議な図書室で起きた奇跡に、あなたもきっと心がふるえるはず。

●作戦失敗☆
『スベらない同盟』

にかいどう 青／著 講談社



クラス内ヒエラルキーの上層にいるレオは、いじめられている藍上(あいうえ)とふたりで文化祭で漫才をすることにした。自分といることで藍上を救うことができれば、と考えたのだ。ところが、ちょっとしたことで一気に流れが変わり、次はレオが標的とされてしまう。そして、文化祭の直前、藍上から漫才コンビの解消を告げられた。どうする！？文化祭。

レオも藍上もいい子なのに、まわりの影響で行き違ってしまうところが切なく、もどかしいです。

●文学に魅せられて
『坂下あたると、しじょうの宇宙』

町屋 良平／著 集英社



文学をこよなく愛する高校生のあたるは、小説の新人賞選考に残るほどのスゴイ才能の持ち主。一方友達の毅はいつもあたるのそばにいて、劣等感にさいなまれながらも詩作に励んでいる。ある日、小説投稿サイトであたるの偽アカウント捏造事件がおこった。あたるは小説を書くことができなくなり、二人の友情はくずれていく。彼らの行く末に救いとなったものは…。

文学に没頭する彼らのひたむきな姿に乞うご期待！

●俺たち、どうしたい？
『僕たちの部活動改革』

神谷 拓／著 かもがわ出版

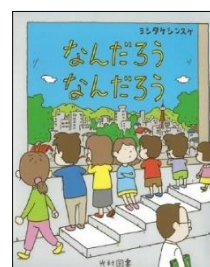


とある問題に直面し、廃部の危機にある男子バレー部。部を存続させるために、生徒たちが自ら部活動の運営に乗り出し、改革を始めます。しかしそこには、顧問や練習環境の確保、技術指導内容の提案、スケジュール管理など、課題は山積みで…。

この本では、生徒が主体となって行う部活自治を、小説で追いながら解説しています。部活動をしている人はもちろん、これから何かを始めたいと思っている人や、部活に関わる全ての人にお勧めの一冊です。

●「なんだろう」ってなんだろう
『なんだろうなんだろう』

ヨシタケ シンスケ／著 光村図書出版



「たのしい」ってなんだろう。「うそ」、「正義」、「ゆるす」、「ふつう」ってなんだろう？ 考えてもすぐには答えが出ないときもある。大人になってもわからないこともある。流れにまかせたほうが楽なときもある。けれど、いつもは気に留めないような、そういったことにもいちいち立ち止まって、ヨシタケさんといっしょに考える練習をしよう。自分で考えて、自分で決めていく人生のために。

●知るほど面白い、相撲ことばの世界をのぞいてみよう！
『知れば知るほどお相撲ことば』

『おすもうさん』編集部／編 ベースボール・マガジン社



「番狂わせ」、「押しが強い」、「一枚上手」、これらの言葉に共通するもの、それは相撲。この本では、日常生活の中で何気なく使っている、相撲から生まれた言葉がたくさん紹介されています。また、「そうめん代」「えびすこ」等の相撲界だけで使われている言葉や、行司・呼出し・床山など相撲の裏方さんたちが使う専門用語も楽しいイラストとともに解説されています。

業界用語を知れば、相撲通へ一直線！この本を読んだ後では、相撲がより面白く感じられるかもしれません。